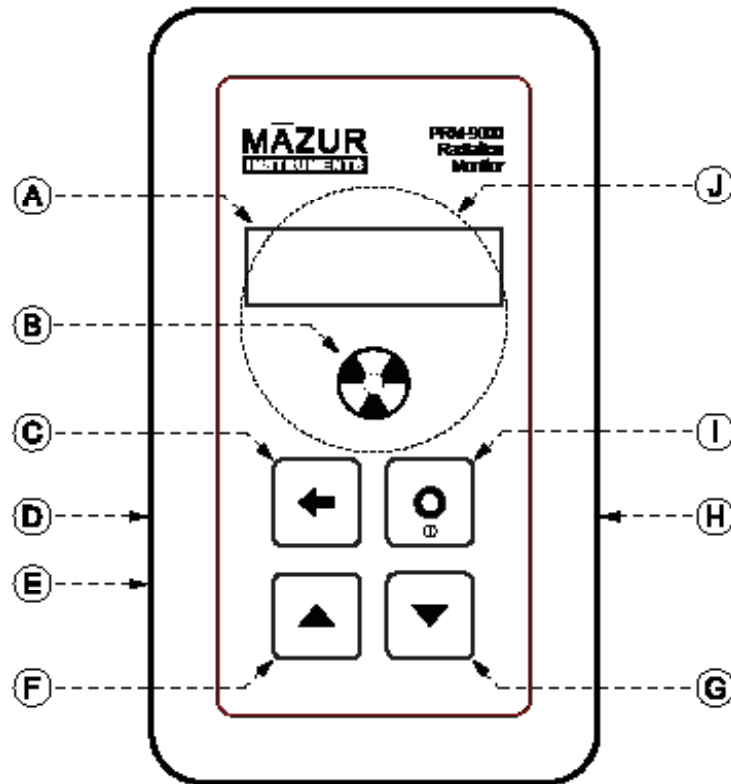


PRM-9000 核放射線モニター

クイックスタート・ガイド






管理・表示・接続

A	二段見出し・14桁、バックライト付LCD
B	放射能感知LED表示
C	バック・キー
D	外部音源・データジャック
E	外部DCパワー入力ジャック
F	アップ・キー
G	ダウン・キー
H	サウンド・ポート
I	選択・電源オン キー
J	ガイガーミュラー管用窓

PRM-9000を起動させる

 を起動メッセージがLCD上に表示されるまで押し続けて下さい。





「常にオン」で監視 電源管理の設定

電源設定 (セッテイで調整)	(下記に切り替わるまでの) 操作の無い状態の時間	
	LCDオフ	バックライト・オフ
最小	60秒	15秒
中	10分	45秒
高	常にオン	常にオン



低バッテリー状態	30秒	2秒
----------	-----	----

注:LCDがオフの状態でも、PRM-9000は現在、平均、最大、最小の測定値、および全カウント数を含め、放射線を感知・測定し続けます。キーのどれかを押すと、ディスプレイが再表示され、電源設定において選択された操作の無い状態の目標時間を超えるまで、通常の作動が続きます。

ホーム画面の操作




	バックライトのオン・オフ切り替え
 または 	8つの画面を上下に移動: <ol style="list-style-type: none"> 1. 現測定値 2. 平均測定値 3. 最大測定値 4. 最小測定値 5. 全測定カウント数 6. 最大測定値の観測日時 7. 現在の時刻・日付 8. パワーアップまたはリセットからの経過時間
	メインメニューを選択

PRM-9000の電源を切る

PRM-9000は常にオンの状態であるよう意図されています。電源設定により、電量消費は最小限に抑えられます。機器の電源をオフにするには、ホーム画面で電源を切りたいか確認メッセージが出るまで  を押し続けて下さい。  を押して了承します。他にも、ユーティリティのサブメニューから機器の電源を切ることが可能です。

電源がオフの状態でも内部時計は作動し続け、全ての設定は保存されます。しかし、機器をまたオンにする際、全てのカウンター（平均値、最小値、最大値、総カウント、および経過時間）はリセットされます。

メニューシステムを操作する

	<p>メインメニューを選択</p>
<p>▲ または ▼</p>	<p>サブメニューを上下に移動:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間測定(ジカン ソクテイ) ユーザーはこの機能を使って、指定時間内の測定値を観測できます。この機能は、少量の汚染を感知するのに便利です。 2. 単位設定(タンイ セツテイ) ユーザーはmR/hr、uSv/hr、カウント毎秒(CPS)、またはカウント毎分(CPM)を測定単位として選択出来ます。 3. 設定(セツテイ) ユーザーはこのサブメニューを使ってPRM-9000の作動をカスタマイズ出来ます。設定には電子音やLEDランプ、線量率アラーム、時刻・日付、電源設定および低線量率での平均化の管理に関するものが含まれます。 4. ユーティリティ このサブメニューには、測定カウンター(平均値、最小値、最大値、総カウント、および経過時間)のリセット、ハードウェア・リセット、機器の電源オフ、工場出荷時の初期設定値の回復、バッテリー電圧の表示、およびキャリブレーション過程の実施が含まれます。 5. 外部音源/データ(ガイブ オン・データ) このサブメニューは、音源/データジャックの操作を管理するために使用されます。ジャックは選択可能な3つの音量レベルで音源を出力し、第3者ソフトウェアと互換性のあるパルス出力の提供、またはパソコンを使ったデータ収集用のシリアル・データ・ストリーム(別売りのケーブルが必要)の出力が可能です。 6. データ・ロギング このサブメニューは、PRM-9000内の内部ロギング・メモリーへのデータ・ロギングを管理する機能を有します。 7. 言語(Language ゲンゴ) ユーザーによる日本語または英語の言語設定が可能です。
	<p>希望のサブメニューを選択。サブメニュー内の操作の過程を繰り返す。</p>
	<p>前のメニューに戻る。</p>

サブメニュー 選択: デフォルト	詳細	選択肢 -  を押して 変更/選択
---------------------	----	---





ジカン ソクテイ(時間測定)

スタート	指定時間内の測定を開始。ディスプレイには時間測定内の移動平均および分数のカウントダウンが表示される。ディスプレイには、ユーザーが消去するまで最終値が表示される。	
ジカン:10フン	指定測定時間を分数で設置。	1分、5分、10分、20分、30分、60分、90分

タンイ セツテイ(単位設定)

mR/hr	線量率測定単位を選択	μR/hr、mR/hr、μSv/hr、カウント毎秒(CPS)、カウント毎分(CPM)
-------	------------	--

セツテイ(設定)

デンシオン:チュウ	電子音の音量を管理する。	オフ、ショウ、チュウ、ダイ
ランプ:オン	LEDランプ表示をオンまたはオフにする。	オン、オフ
ケイコク アラーム:オフ	線量率アラームをオンまたはオフにする。	オン、オフ
mRhアラーム セツテイ uSvアラーム セツテイ ヒツケ・ジコク セツテイ	Sets the dose rate measure線量率の測定をmR/hrで設定し、音声アラームが鳴るようにします。 線量率の測定をuSv/hrで設定し、音声アラームが鳴るようにします。 時刻・日付を24時間形式(時:分:秒、月:日:年)で設定します。	 で数字選択。  で数値選択。  で設定内容を保存し終了。  で変更せずに終了。
デンチショウヒ:サイショウ	内部バッテリー電源管理の設定	最小、中、最大
ガイブパワー:ダイ	外部電源管理の設定	小、中、大
テイヘイキンフィルタ:20s	低レベルの測定値を、この設定で選択された秒数内で平均します。	20秒、10秒、5秒(機器の画面では、秒の代わりにsを使用)

サブメニュー 選択: デフォルト	詳細	選択肢 -  を押して 変更/選択
---------------------	----	---

ユーティリティ

カウンター リセット	現在、最大、最小、平均値、および全カウントの記録がリセットされます。	
ハードウェア リセット	機器をリセットし、時刻・日付を含めた記録を全て消去します。	
デンゲン オフ	電源をオフにし、放射線監視機能を全て遮断します。	
ショキ セッテイ	工場出荷時の初期設定を回復します。	注:この機能はキャリブレーションのデータを消去します。注意をもって使用して下さい。
デンゲン ヒョウジ	内部電池および外部電源の電圧を表示します。	
メモリ チョウセツ	キャリブレーション・ルーティーンを入力します。20mR/hrと200mR/hrの二つの目盛り線量率が必要です。	注:キャリブレーションは、認証された計器校正ラボのみが、認証されたセシウム137源を使って使用出来ます。

ガイブオン・データ(音源・データ接続の設定)

オフ	ヘッドホンまたはオプションのUSB接続ケーブルとの併用での外部音源・データジャックの使用を供給します。パルス シュツリョク設定により、PRM-9000を放射線量グラフ・ソフトウェアや他の電子機器にインターフェイス出来ます。	オフ、データ、音量:小、音量:中、音量:大、パルス出力
----	---	-----------------------------

データ・ロギング

マイ:フン	測定値をデータログ・メモリーに保存する頻度を設定。	分、時
スタートまたはストップ	ロギングの開始、終了。	
ステータス	ロギング中またはロギング終了後の記録数とメモリー容量を表示。	
データ ソウシン	ログ・データを、カンマで区切られた形状により576000ボーで転送(データ・ケーブルが必要)。	注:このコマンドは、ロギングが終了した際にのみ表示されます。

Language ゲンゴ

エイゴ	英語または日本語の選択。	英語、日本語
-----	--------------	--------

PRM-9000のリセットスイッチの使用

万が一PRM-9000が応答しなくなった場合、ペーパークリップを使って機器をリセットすることが出来ます。パワー・ジャックの右側に小さな穴があります。ペーパークリップを穴に差し込んで、リセットスイッチを押して下さい。起動メッセージが表示され、工場出荷時の初期設定に戻ります。

機器をリセットする別の方法として、電池を取り出し、30秒後にまた電池を入れて下さい。この方法でも機器がリセットされます。

機器が校正されキャリブレーション・データが機器内に保存されている場合は、リセットの際、そのキャリブレーション・データが使用されます。

内部電池を交換する

1. 1PRM-9000への外部接続(電源コネクタおよび音源・データコネクタ)を全て切断する。
2. プラスドライバーを使って、ケースやキーパッドを傷つけないように気をつけながら、キーパッドの周りの4つのネジを慎重に外します。



PRM-9000は高電圧です。機器の正面にあるLDCの下部の部位には、絶対に触らないようにしましょう。

3. ケースの上部位を取り除き、キーパッドとPRM-9000を繋ぐリボンケーブルを引っ張り過ぎないように注意しながら、上面に置いてください。
4. 左右それぞれの手の指を使って、9ボルト電池の上部をバッテリー接点から離すように押しながら、電池の接続を遮断して下さい。
5. システムが完全に電源を切った状態になるまで、30秒待ってください。
6. 電池の端末側から、電池を固定している留め金の外へ電池を取り出してください。
7. 使用済みの電池はきちんと廃棄しましょう。
8. 端末の正極・負極にきちんと合うよう、新しい電池の向きを整えましょう。留め金を開くには、新しい電池の外側を使うことで、電池が固定されます。
9. 電池を押し上げ、端末が両方ともパチンとはまるよう確認してください。
10. PRM-9000が起動メッセージと製造番号を表示します。
11. シールドを折りたたみ、カバーをそっと元の位置に戻してください。
12. ネジをきつく締めすぎないように注意しながら、4つのプラスネジを取り付け、手順を終了します。



Mazur Instruments
200 South Wilcox Street #448
Castle Rock, CO 80104 USA
www.MazurInstruments.com